令和８年度　第７回益富地域会議（豊田市への提言）　会議録

日　時：令和８年１０月２１日（水曜日）１９時００分～２０時３０分
場　所：益富交流館　１階　多目的ホール
出席者：太田市長
＜地域会議委員＞岩下　晟也、大石　茂則、桂田　章、加納　栄寿、
岸和田　紀美代、小松　幸司、柴田　栄作、鈴木　昭雄、
鈴木　勲、鈴木　雅子、中山　修、信川　浩二、橋本　卓美、
森本　泰崇、山田　武志
【欠席】梅村　哲平、櫻井　裕子
＜高 橋 支 所 ＞　前田支所長、吉野担当長

«内容»

1　会長あいさつ

2　豊田市長への提言書手交

橋本会長から太田市長へ提言書を手交。その後、全体で記念撮影を実施。

3　市長あいさつ

美里地域会議の提言にも出席したが、益富地域と似たような地域課題の傾向があると感じたことが述べられた。

4　意見交換

（1） 自動運転バスについて

（委員）日進市では小型バスの自動運転が導入されているが、豊田市における自動運転バス導入に向けた取組について伺いたい。

（市長）豊田市では現在、自動運転バスの実証実験を実施中であり、土橋駅周辺や小原地区で走行実験を行っている。将来的な実用化を目指しているが、安全性の確保が大きな課題となっている。令和９年度はレベル２（運転手を同乗させずに走行する段階）の実証実験に入る予定。安全第一で進めている。

（2）鳥獣被害について

（委員）イノシシやシカ、熊の出没が増加していることが話題となったが、益富地区ではイノシシの被害が目立ってきている。市に相談しても自治区主体で動いてほしいことを言われる。自治区を横断してイノシシ捕獲に取り組んでいるが、うまくいかない。市と自治区、猟友会が連携して積極的に対応策を講じてもらえるとありがたい。

（市長）市職員の数も限られていることから全てに対応することは物理的に難しい。また、熊については餌となる柿の木の伐採も進めているが、伐採の許可をいただいた住民の木しか対応できない。また、今後は動物の餌となり

得る残飯についてゴミステーションの管理問題も出てくると懸念している。今年度、鳥獣被害の相談窓口を一本化したのでどこに相談すればよいか分からない場合は同窓口に連絡をしてほしい。

（3）孤独・孤立対策について

（委員）高齢化や単身高齢者の増加による孤独・孤立が課題としてあるが、自身は現在区長の理解をいただいて区民会館を交流の場として活用し、子どもから高齢者まで幅広い年代に参加いただいて盛り上がっている。

（市長）それは私としてもお願いしたいことで、地域の集会所や交流の場をもっと活用してほしい。すべての人を地域活動へ参加させるのではなく、無理のない形で交流機会を増やしていくことが大切だと思う。

（4）地域人材の活用について

（委員）豊田市では地域指導者の人材バンク（とよクラ）に取り組まれているが、登録人数はどのくらい集まっているのか。

（市長）とよクラについては、地域差はあるが、そこそこの人数が集まっている。高齢者クラブの方々や現役の方々を含めて潜在的には登録いただけそうな人はかなりいると捉えている。

（5）五ケ丘活性化🎀プロジェクトについて

（委員）今年度から五ケ丘活性化🎀プロジェクトを地域住民の有志で立ち上げて、高橋支所にも協力していただいて活動を進めている。12 月には地域住民に活動報告をさせていただく予定でいる。また併せて、学校再編についても、跡地となる学校利用を上記プロジェクトの活動を尊重していただけるとありがたい。

（市長）市としても公平性や透明性を確保する責任があり、なかなか特定の事業者や団体のみと協議を進めることは難しい。しかし、地域の取組や意見も十分踏まえながら、将来に禍根を残さないように丁寧な手続きと意思決定が大切だと考えている。

5　市議あいさつ

吉野市議会議員からあいさつをいただいた。

6　事務連絡

（１）次回の地域会議

令和８年度　第８回益富地域会議

・日時：令和８年１１月１８日（水）１９時～

・場所：益富交流館１階　多目的ホール

以上